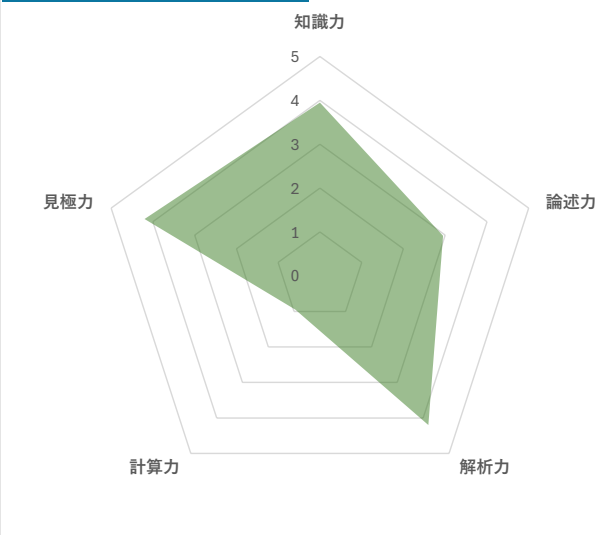


総合分析

試験区分 一般 (後期)

制限時間 60分 (理科 2科120分) 大問数 全 3 問

合格に要する能力 (5段階)

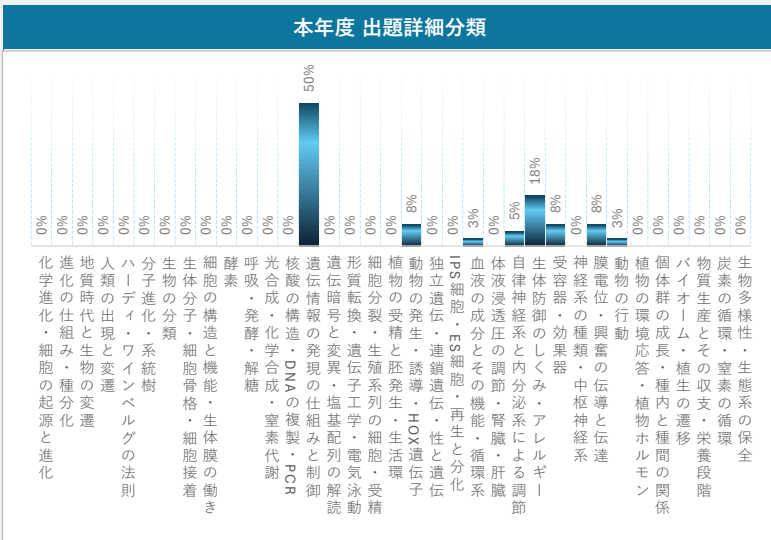


合格に要する能力 (5段階)		
知識力	3.8	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	2.8	設問の指定に沿って的確に記述するか
解析力	4.0	図表データなどから分析・解析するか
計算力	0.8	式を組み立て、正しく計算するか
見極力	4.0	難度を判断し、適切に時間配分するか

出題分野	
系統と進化	0%
生命現象と物質	0%
遺伝子	50%
生殖と発生	8%
生物の環境応答	43%
生態	0%

本年度 解答形式
 論述 75% 選...

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	動物の発生, 動物の環境応答
第 2 問	生体防御, 自己免疫疾患
第 3 問	真核細胞の遺伝子発現調節



特殊問題の有無 数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述なし

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.2	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	64%
分量	60分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準	標準	

入試の特徴と対策 標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。

入試から見る大学が求める学生像 大問 1, 大問 2 は平易であるが、大問 3 の難度が高い。これは前期と同様な傾向であり、標準的な問題を正確にスピーディーの処理できる力と難問にいかにかに食らいついていく力の2面性が求められる。このような構成を意識し、大問 1 と大問 2 をいかに手早く倒して大問 3 に集中できるか、その見極め力も求められている。